

防カビ

抗菌コート



Linda 横浜油脂工業株式会社

コンセプト

優れた
抗菌性能

×

簡単施工

市場

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、除菌や抗菌に関する意識が高まっている。
- ・個人では行えないエアコン洗浄など、ハウスクリーニング業者への依頼が増加。
→洗浄だけでなく、防カビ・抗菌のオプション依頼も増加。
- ・清掃業界全体で人手不足。→作業の効率改善が必要。

課題解決

- ・作業のわずらわしさ、スピード、簡易性。
- ・施工時のムラ、エアコン内部の深い部分まで届く。

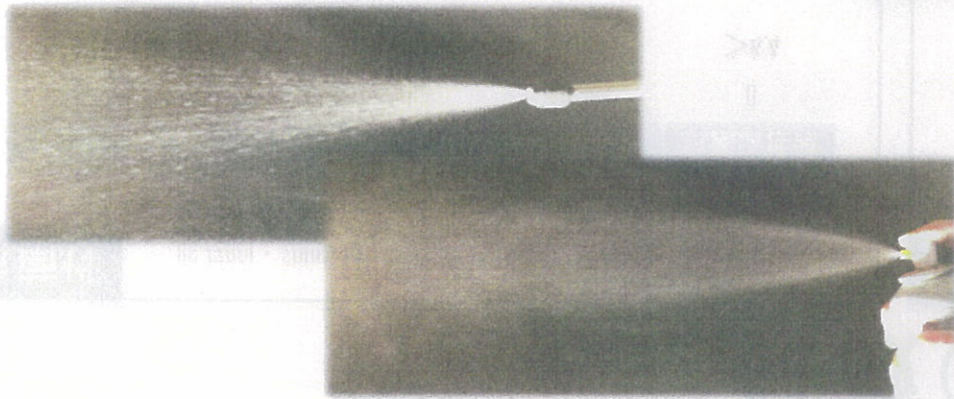
特徴 ①

作業性



詰替え不要

	従来品	防カビ抗菌コート JET
事前準備	詰替えが必要	不要
ムラ	発生しやすい	発生しにくい
通過	表面のみ	奥まで届く
作業時間	—	短縮
つまり	可能性あり	なし



粒子が細かいのでムラになりにくい



アルミフィンの奥まで届く

特徴②

抗菌性

JIS Z2801 : 2000 「抗菌性能試験法」に準拠。
菌液を接種してから24時間後の菌数の変化。

大腸菌	接種直後	24時間後	抗菌活性値
ブランク	3.1×10^5	2.8×10^5	0
防カビ抗菌コートJET	3.1×10^5	<100	>4.4

黄色ブドウ球菌	接種直後	24時間後	抗菌活性値
ブランク	3.6×10^5	3.3×10^5	0
防カビ抗菌コートJET	3.6×10^5	<100	>4.5

防カビ性

住宅環境で検出頻度の高い60菌種を含む
71菌種に対するの抵抗性を試験

	3ヶ月相当	1年相当
ブランク	×	×
防カビ抗菌コートJET	○	○

カビ抵抗性試験の結果



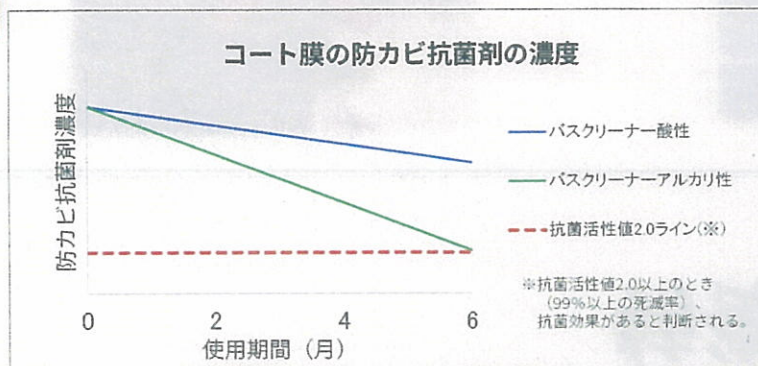
ブランク



防カビ抗菌コートJET

※培養器と培養条件により、強制的にカビが生えやすい環境にしています。

耐久性



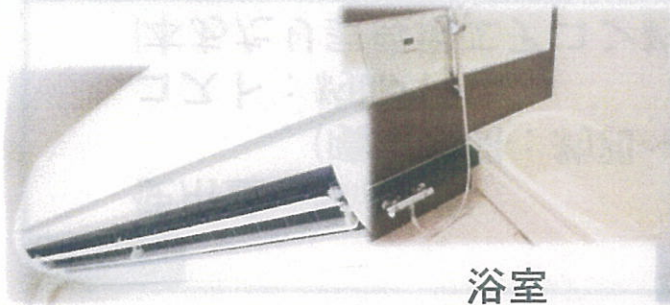
バスクリナーを含ませたスポンジでコート膜をこすり洗い、
6ヶ月間の使用を想定した耐久性を試験。
試験終了後にコート膜に残存する防カビ抗菌剤を定量。

バスクリナーを含ませスポンジでコート膜をこすり洗いしても、
十分な防カビ抗菌剤が存在し、効果が長期間持続する。

※実験室内でのデータです。実際の使用条件によって変わります。すべての雑菌やウイルスへの効果を保証するものではありません。

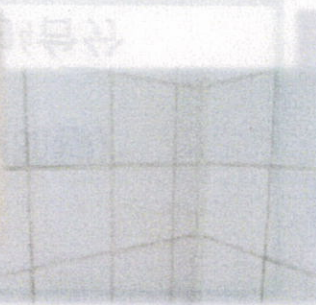
使用用途例・注意点

使用用途例



エアコン

浴室



タイル・目地



壁紙・サッシ



外壁

使用できない材質



革製品



カーペットや
ベッドなどの布製品

効果が得づらい場所・材質



漆喰などの
吸い込みの多い材質



浴槽内部

製品情報および使用量・コスト

製品名	防カビ抗菌コート ジェット
荷姿	200ml×12/CS
製品コード	4992
管理No.	N864
JANコード	4979782049926



エアコン

使用量：50ml程度
 (噴霧時間：約20～30秒)
 コスト：約600円
 1本あたり家庭用エアコン約4台分

エアコン

防カビ施工オプション料金

店名	料金(税別)	持続期間
〇社	2,100円	1年
〇社	3,000円	6ヵ月～1年
K社	無料	1年

浴室・その他

使用量：1m²あたり10～12ml程度
 (噴霧時間：約5～6秒)
 コスト：1m²あたり約120～150円
 1本あたり浴室約1部屋分(16m²程度)

浴室

防カビ施工オプション料金

店名	料金(税別)	持続期間
〇社	4,200円	6ヵ月
〇社	5,000円	3ヵ月
K社	3,000円	3ヵ月

施工方法

エアコン内部

- ① 通常の手順にてエアコン洗浄・リンスを行い、アルミフィンが中性であることを確認してください。
※洗浄作業の詳細については、各洗剤類の使用方法を確認してください。
- ② ブロアーなどを使用し、しっかりと水気を飛ばし、乾燥させてください。
- ③ 本品をアルミフィンやドレンパンに均一に噴霧してください。
- ④ エアコンを組み立て、送風口をウエスなどでおさえて1分程度、送風を行い、余分なコート剤を除去してください。
- ⑤ 夏場は約30分、冬場は約1時間を目安に乾燥させた後、必ず換気を行いながら約5分間運転させてください。



※実際に作業を行う際は、保護具およびカバーを付けた状態で作業してください。

浴室・その他

- ① 塗布面の洗浄を行い、汚れ・カビを除去し、水で十分にすすぐ。または水拭きを行った後、タオルなどで吹き上げ乾燥させてください。
- ② 本品を噴霧し、刷毛やスポンジで薄く塗布してください。※塗布面以外に付着したコート剤は拭き取ってください。
- ③ 換気を行いながら、夏場は約30分、冬場は約1時間を目安に乾燥させてください。



(補足)使用上の注意

- ◆ 材質により密着しない場合があるので、使用する前に本品が密着することを確認の上、使用する。
- ◆ 刷毛やスポンジは本品の塗布専用とし、使用後はすぐに洗浄して保管する。
- ◆ 擦り洗いをした場合、コート剤が削れる場合がある。
- ◆ 若干の水分が残留しても塗布に問題はないが、コート剤が塗膜を形成できなくなる恐れがある。
- ◆ 本品を噴霧した箇所にアルコール系の洗浄剤や消臭剤などを使用しない。

エアコン内部

- ◆ エアコン組み立て後の送風でコート剤が飛散するので、飛散がおさまるまで送風口をウエスなどでしっかり塞ぐ。
- ◆ 塗布時にドレンホースなどから出るコート剤はバケツやウエスなどでしっかり回収する。
- ◆ 塗布量が多いとアルミフィンの目詰まり等が生じたり、パーツ同士が接着するので薄めに塗布する。